

凧づくり

1 活動の概要等

身近にある竹を使って、和凧（奴凧・角凧）を作ることを通して、日本古来の伝統文化にふれる機会になります。

2 時期・時間

年間を通して活動できます。

3時間程度

※用具等は準備してありますので、具体的な活動は各団体で進めてください。

3 活動場所

クラフト室 大・中・小研修室 ピロティ 工作館 等

4 準備

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
カッター 工作板 ナイフ メジャー コンパス はさみ 筆	活動に適した服装 竹 凧糸 凧紙 絵の具 のり 接着剤 鉛筆

5 実施例

- ①用具の貸し出し →用具はボランティア室とクラフト室にあるので、事務室にことわってから各団体で準備してください。
- ②下書き1 →発砲スチロールの塊に鉛筆で横から見た形をかきます。
→裏側からもかくと分かりやすいです。
- ③荒削り1 →下書きをもとに大まかに切り抜きます。
→一度に削らずに、薄く何回もカットしてください。
→カッターは、手前から外に向かって削ります。
- ④下書き2 →上から見た形を鉛筆でかきます。
- ⑤荒削り2 →大まかに丸みをつけながら削ります。
→鉛筆を削るように、刃を動かさずに発砲スチロールを手前に動かしながら削ります。
- ⑥仕上げ削り →にんじんの皮をむくように、刃をできるだけ寝かせ薄くむいていきます。
→いろいろな方向から見て、左右対称になるようにします。
→でこぼこができる時は刃を温めると薄く削れます。
- ⑦尾をつける →厚紙を作りたい鳥の尾の形に合わせて切り抜きます。
→図鑑を見て、長さや幅を考えます。
(尾の形で鳥の種類がはっきりします。)
→尾の接続部分にカッターで5mmくらいの切り込みを入れ、のりづけします。
→木工用ボンドやゴム系接着剤は、発砲スチロールを溶か

	すので注意してください。
⑧足をつける	→針金にフローラテープを巻いて、足の形に曲げます。 →のりづけします。
⑨色を塗る	→図鑑を見ながら絵の具で色づけします。 →あまり水で溶かないのがポイントです。
⑩枝に止める	→適当な小枝を見つけ、キリで穴をあけ足を固定します。
⑪用具の後片づけと清掃	→清掃、用具の点検と返納を確実に願います。

6 留意点

- ・活動に使った道具については、責任を持って返してください。
- ・ゴミの始末をきちんとしてください。発泡スチロールの削りかすは、まとめて不燃物置き場に処理してください。
- ・筆と絵の具皿は、水できちんと洗って返納してください。
- ・発泡スチロールの粉は、静電気を帯びて引火しやすくなります。火気には十分に注意してください。
- ・ロビーに展示しているカービングも参考にしてください。